

僕らは痛車でつながっている。

# 痛車グラフィクス

vol.10

1,500円

痛G社会科見学

なぞの美少女を追え!

♂が♀で何が悪い!

新コーナー 漢コス専科

MAISAKURA

To Heuree Character Design Vehicle Com

特別付録  
痛Gオリジナル  
ステッカーこんなときこそ  
笑顔でいにうよ。痛車マジ  
最高一!

全国の痛車スナップ

大阪&amp;愛知

仲間っていいよね。  
痛車チーム紹介

茨城

職人のワザを見よ  
カッティングの匠予算1万円で  
☆見ちがえる☆

**DIYテクニック大公開!  
&電気工作基礎講座**

AMAKI-K

EVENT REPORT  
Wonder Festival  
2011 [Winter]

ひめたま

東京オートサロン2011  
あうとさろーね  
浜北鑑定団3  
痛車ルロ

# COVER STORY

表紙のクルマ

photo by RYOTA SATO

"follow your own road, and let the people talk"

-Dante-



お前の道を進め。  
人には勝手なことを言わせておけ。

「名は体を表す」。人や物の名前は、そのものの実体を言い表しているという意味のことわざ。

雄々しく張り出したブリスター フエンダーに合わせたワイドト レッド、前置きインタークーラー、そして極太マフラーから吐き出されるビートの効いたエキゾースト。どれも男らしさ満点なのに、ついたニックネームは「いやらシーマ」、どうしてこうなった……。

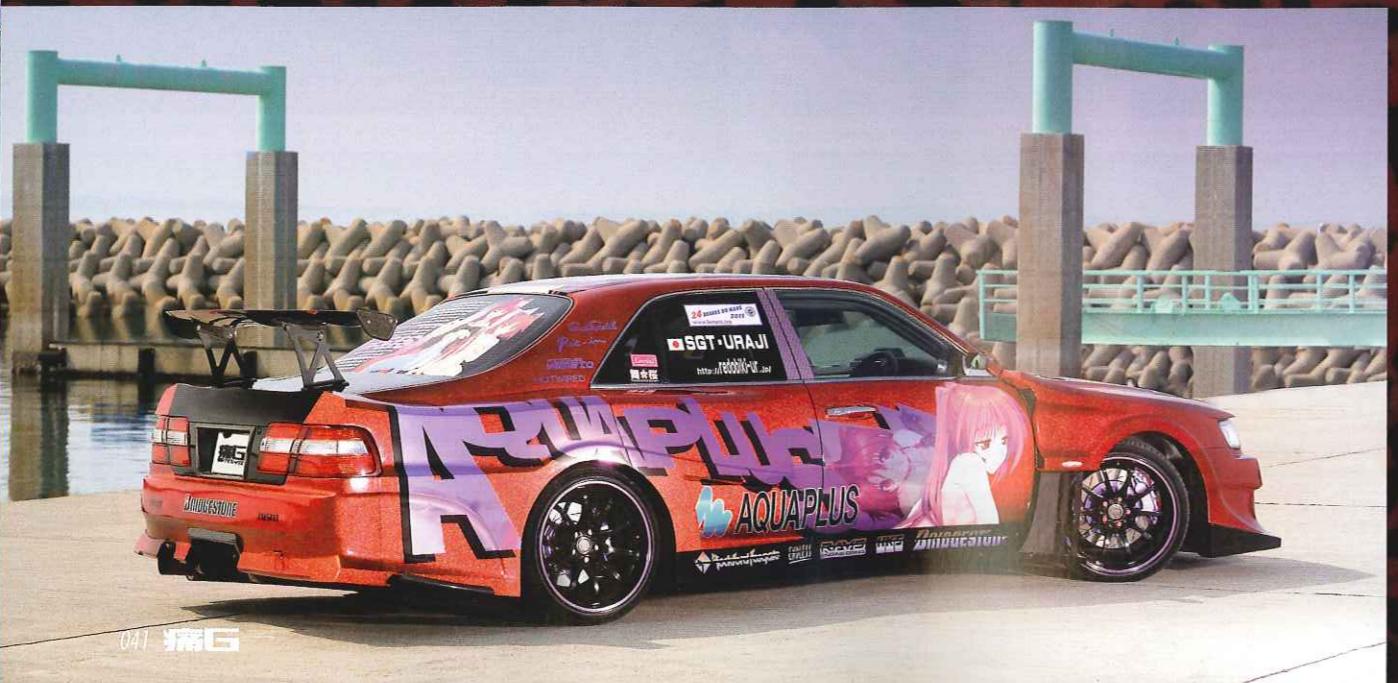
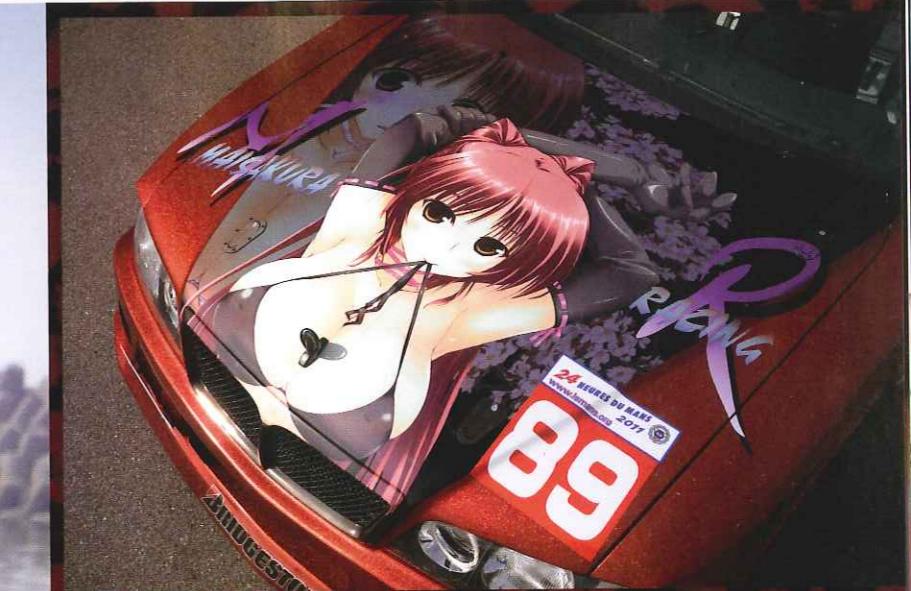
その理由は、「体」を見れば一目瞭然。『To Heart 2』のヒロイン、タマ姉こと向坂環が、あちらこちらでギャラリーにそのセクシーな姿をさらしているのである。ビッグセダンの4面それぞれに描かれたメイド姿や悩ましげなまなざしに、男ならば誰しも反応してしまうだろう。とくに強烈なのがボンネット。高級セダンの証であるボンネットマスクコットが、なんともけしからん位置に鎮座しているのだ。なるほど、これはたしかにいやらしい。

しかし、肝心のオーナーはと言えば、愛車のニックネームにまんざらでもない様子。むしろ、ボネットのイラストに画像加工で、ぱつち。を付け加えたというのだから、もはや言い逃れもできないうだろ。まさしく、「名は体を表す」のである。

# 欲望と希望の果てに。 だれが呼んだか、“いやらシーマ”。



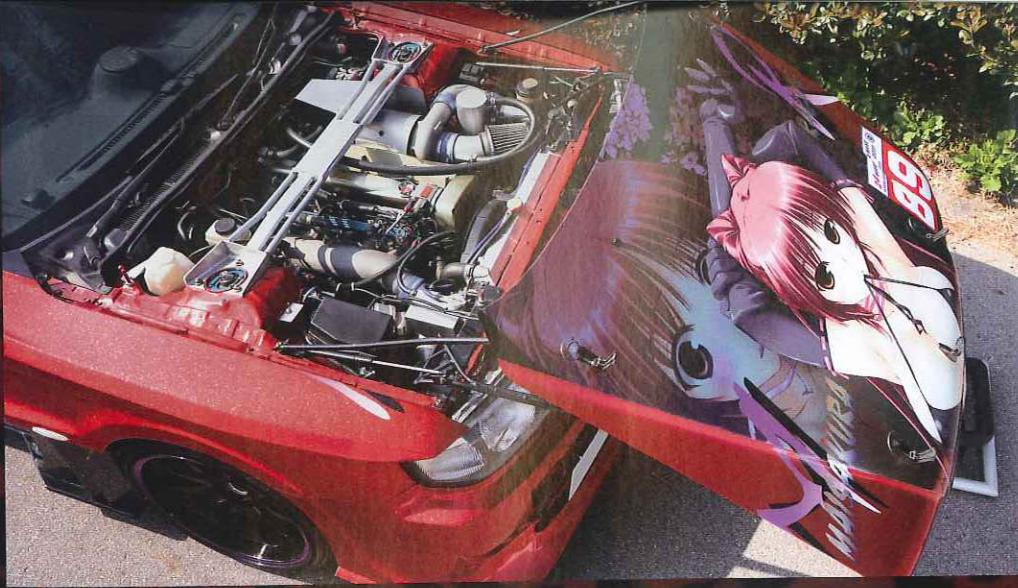
●セクシーなタマ姉にドキドキしてしまうルーフ。リヤガラスとともに、イラストをステッカーにするだけでなく、文字を追加することで、オリジナリティを出しているのがポイント。



●メインのイラストは反射素材にプリント、バイナルグラフィックはメッキフィルムにカラー印刷したもの。それゆえ、光りの加減によって、ステッカーはさまざまにその表情を変える。

COVER STORY

●ボンネットはイベントなどでアピールするためにリンクをワンオフで製作。エンジンルームには、名機RB26がT88タービンとともに収められている。



## 走り、カスタム、オーディオ、好きな物すべてを盛り込む。

●ボンネットはイベントなどでアピールするためにリンクをワンオフで製作。エンジンルームには、名機RB26がT88タービンとともに収められている。

面白いのが、カスタムの方向性が速さ方面以外にも振り分けられていること。とくにオーディオは、リヤシートをとっぱらってインストールするほどの大胆さ。速さだけにこだわっているわけではない。

実際にチューニングも施し、「走る」「曲がる」「止まる」を鍛え上げた。中でも注目したいのがエンジンおよびミッションの換装で、

第2世代GT-Rに搭載された直6エンジン・RB26とMTミッショ

ンが搭載されている。

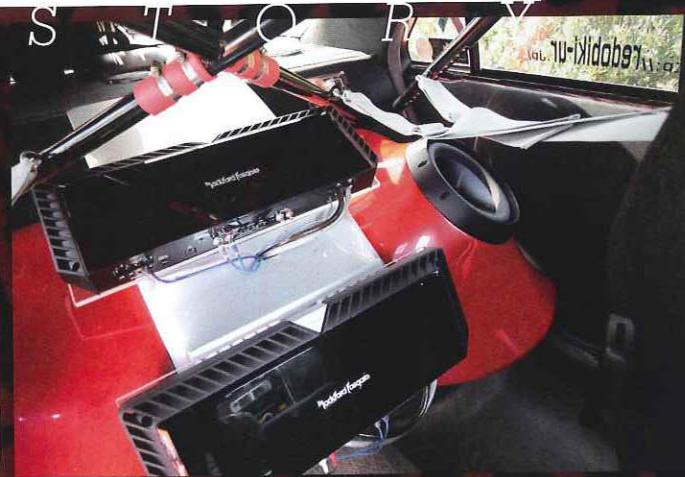
シーマと言えば、ニッサンが誇る最上級サルーン。たしかに、初代からDNAとしてスポーティな一面も持つが、ちょっとここまでスポーティなシーマもないだろう。イメージしたのはSUPER GTのマシン。ブリストー形状のワイドファンダーやエアロの造形、そしてステッカーワークでGTマシンの雰囲気を再現。

このまま終わらせてしまうと、痛Gの表紙車がまるで変態紳士の乗り物のようなので、カスタムの内容にも触れておこう。

●足元の3ペダルとシフトが載せ換えの証。



●エンドレス製ブレーキキットはベルハウジングとキャリパーをステッカーに合わせて塗装した。



●リヤシートをとっぱらってウーファーボックス＆アンプラックを大胆にインストールする。



### OWNER

うらじーさん

●こんなにもワガママ全開のクルマを作ったのと同一人物とは思えない人格者。でも、こんな写真を見せられたら、そんなフォローも意味ないですよね。



●トランクは遠征も考えて実用性を重視。トランク右上にあるのは、移設した給油口だ。

